

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 27 年 1 月 15 日 (2015.1.15)

【公開番号】特開 2013-116561 (P2013-116561A)  
 【公開日】平成 25 年 6 月 13 日 (2013.6.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-030  
 【出願番号】特願 2011-263741 (P2011-263741)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 15/04 (2006.01)**

**B 4 1 J 15/16 (2006.01)**

**B 6 5 H 43/00 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 15/04

B 4 1 J 15/16

B 6 5 H 43/00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 11 月 21 日 (2014.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロール状に巻かれた記録媒体を回転可能に保持することができる、第 1 取り付け部および第 2 取り付け部を含む供給ユニットと、

前記供給ユニットから供給される記録媒体に画像を記録する記録ユニットと、  
を有し、

前記第 1 取り付け部に保持された記録媒体を引き出して、前記記録ユニットで記録したものを排出する第 1 の動作と、

前記第 2 取り付け部に保持された記録媒体を引き出して、前記記録ユニットで記録したものを排出する第 2 の動作と、

前記第 1 取り付け部に保持された記録媒体を引き出して、前記記録ユニットで記録したものを、前記第 2 取り付け部で巻き取る第 3 の動作と  
を選択して実行することが可能であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記第 1 の動作および前記第 2 の動作においては、ロール状に巻かれた記録媒体は供給用のスプールに保持され、

前記第 3 の動作においては、ロール状に巻かれた記録媒体は前記供給用のスプールに保持され、記録の済んだ記録媒体は巻取り用のスプールにより巻き取られることを特徴とする、請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記供給用のスプールであるか前記巻取り用のスプールであるかを判別する判別部と、前記判別部での判別結果に応じて装置の動作を制御する制御部とをさらに有することを特徴とする、請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記第 1 の動作および前記第 2 の動作において排出された記録媒体を収容するバスケットをさらに有することを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装

置。

【請求項 5】

前記第 2 取り付け部に保持された記録媒体を引き出して、前記記録ユニットで記録したものを、前記第 1 取り付け部で巻き取る第 4 の動作を実行することが可能であることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

記録媒体を回転可能に保持する取り付け部と、  
記録媒体に画像を記録する記録部と、  
を有し、

前記取り付け部は、ロール状に巻かれた記録媒体を前記記録部への供給のために保持する第 1 の用途と、前記記録部で記録がされた記録媒体をロール状に巻き取る第 2 の用途に用いることが可能であることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の画像形成装置は、ロール状に巻かれた記録媒体を回転可能に保持することができ、第 1 取り付け部および第 2 取り付け部を含む供給ユニットと、供給ユニットから供給される記録媒体に画像を記録する記録ユニットとを有し、第 1 取り付け部に保持された記録媒体を引き出して、記録ユニットで記録したものを排出する第 1 の動作と、第 2 取り付け部に保持された記録媒体を引き出して、記録ユニットで記録したものを排出する第 2 の動作と、第 1 取り付け部に保持された記録媒体を引き出して、記録ユニットで記録したものを、第 2 取り付け部で巻き取る第 3 の動作とを選択して実行することが可能であることを特徴とする。